

(3) 薬剤散布の省力化



こんなお悩みに…

- ・作業に時間がかかる
- ・散布のムラで生育にばらつきが出る
- ・機械の操作に経験が必要
- …など

1.どんな方法があるの？

取り入れる機械の例

ドローン～ラクラク機体制御で簡単に農作業～



防除作業をするドローンと操縦中のコントローラ

導入するために必要な基盤整備

- ・ 作業道の整備で更に作業効率がアップ
幅2m程度の作業道を整備することで車での資材運搬が可能
- ・ 離着陸等スペースの整備で更に省力化がアップ
散布剤の補充作業やバッテリー交換が最小限の移動で可能

従来の方法とドローンでの防除作業に要する作業時間を比較した結果⇒



2. 効果・メリットは？

ラクラク

- ・水田の中に入らずに作業可能
- ・重い機械を持たずに作業可能

未経験でも簡単

- ・新規就農者や女性でも取り組みやすい

データ管理

- ・ほ場を細分化したデータで管理できる
- ・追肥を狙ってできる

※ドローンを活用するとこんなこともできます！

上空から水田を撮影 ⇒ 葉色診断のカラースケールで色分け



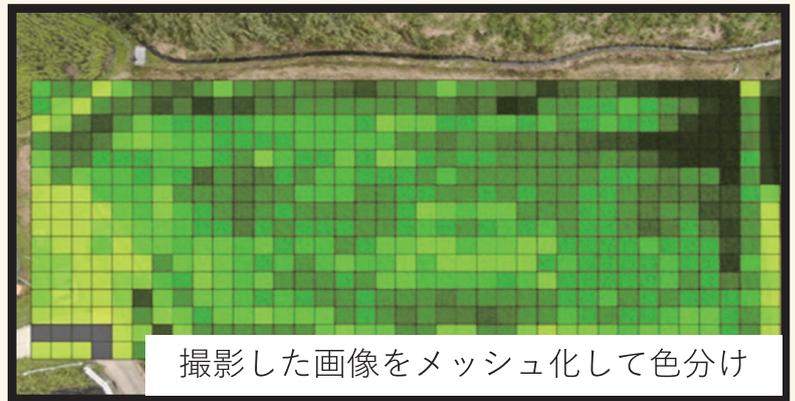
カラースケール

⇓
狙った場所に散布ができる！

⇓
品質・単収増加や肥料代の節約に！



水田を上空から撮影



撮影した画像をメッシュ化して色分け

3. 費用は？

※県が実証試験で使用した機器の費用

価格は令和7年10月時点

機器	導入費用
ドローン	(タンク容量 8 ℓ) 1,199,000円 (タンク容量20ℓ) 1,595,550円

[活用できる事業]

農業競争力強化農地整備事業、農地耕作条件改善事業、中山間地域等直接支払交付金 等(詳細は各農林水産事務所へご確認ください)

実証試験で使用した機器の動画等はこちらから確認できます。



動画
はこちら



機器の詳細
な情報は
こちら